

令和 5 年 6 月 26 日現在

機関番号：32689

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2017～2021

課題番号：17H06337

研究課題名（和文）和解に向けた歴史家共同研究ネットワークの検証

研究課題名（英文）A Research of Historian Collaborative Research Network for Reconciliation

研究代表者

劉傑 (Liu, Jie)

早稲田大学・社会科学総合学術院・教授

研究者番号：80288018

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 32,360,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、日中韓の「歴史家ネットワーク」と「歴史和解」との関係性を構造的、機能的に解明することによって、以下2つの側面から「和解学の創成」という共同研究に寄与した。1つは、民間と政府を背景とする多様な歴史家ネットワークの実態とその活動内容を明らかにし、これらのネットワークを比較検討した上で、歴史家ネットワークが和解に如何に貢献してきたかを解明したことである。もう一つは、歴史家ネットワークから生まれる「知のプラットフォーム」を舞台に、各国の政治、社会、学術の状況を踏まえて、和解学の基盤的分野としての「新史学」を提唱し、「新史学」を東アジアの「知の公共空間」として成立させる道筋を明示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、3つの歴史家ネットワーク、すなわち戦後歴史家、冷戦後歴史家、越境歴史家のネットワークを検証し、留学の経験が東アジア歴史家ネットワークの促進剤になっていること、世代を越えた歴史家ネットワークが成立していること、対話や共同研究の成果が地域内で共有され、社会にも影響を与えていること、史料館がハブとしての機能を果たし、それを媒体に多様なネットワークが形成されていることなどを明らかにした。併せて、歴史上の和解の試みも実証的に検証した。和解の歴史と、歴史研究のあり方、歴史家ネットワークの機能を究明したことは、新学問領域としての和解学の形成と、東アジア域内の歴史和解に貢献するものである。

研究成果の概要（英文）：This study, by structurally and functionally elucidating the relationship between the "historians' network" and "historical reconciliation" in Japan, China, and South Korea, contributes to the collaborative research of "the creation of reconciliation studies" in terms of two aspects. First, this study clarifies the reality and activities of diverse historians' networks with backgrounds in civil society and government, and based on the comparative study of these networks, it reveals how historians' networks contribute to reconciliation. Second, based on the political, social, and academic situations of each country on the stage of "knowledge platform" generated by historians' networks, it proposes the "new historiography" as a foundational field of reconciliation studies and demonstrates the path to establish the "new historiography" as an "intellectual public space" in East Asia.

研究分野：歴史学

キーワード：和解学 新史学 歴史家 ネットワーク 知のプラットフォーム

## 1. 研究開始当初の背景

本研究は、新学術領域研究「和解学の創成 正義ある和解を求めて」の一部として、日中韓及び台湾の歴史家の間で形成されたネットワークに対する検証を通して、歴史和解と和解学に貢献する歴史学のあり方を探求することを目的としてスタートしたものである。

戦争と植民地支配という歴史の「負の遺産」を克服し、和解を実現することは、東アジア未完成の課題である。講和条約や共同声明によって政治的次元での和解は一度達成されたが、国民レベルでの和解プロセスは、戦後70数年経っても迷走し続けている。この地域では、領土・貿易・文化などで国家間の摩擦が発生すると、外交問題が歴史問題化され、「歴史認識問題」が雪だるま式に膨らみ、国民レベルでの和解を一層難しくする。政治的次元での和解が国民レベルでの和解に結びつかない理由の1つに、歴史家(知識人)が歴史和解に必要な「知」と、外交問題と歴史問題を切り離す「方法論」を十分に社会に貢献してこなかったことが指摘される。

このような現状を踏まえて、「和解に向けた歴史家共同研究ネットワークの検証」の研究チームが強く意識したことは、和解に寄与する新しい形の歴史学(新史学)は、和解に不可欠な学知であり、この学知は「和解学」を成立させる前提条件である、ということである。既存の歴史家ネットワークの機能を検証し、和解学の成立と、和解を実現するための「新史学」を提唱することを本研究の主な目的とした。研究代表者の劉傑は、『国境を越える歴史認識：日中対話の試み』(東京大学出版会、2006年)を皮切りに、東アジアの歴史家対話と交流をかさね、歴史家ネットワークを活用して共同研究を展開してきた。『1945年の歴史認識』(東京大学出版会、2009年)、『対立と共存の歴史認識』(東京大学出版会、2013年)も一連の共同研究の成果である。これらの研究成果を踏まえて、新史学の探究がはじめられたのである。

## 2. 研究の目的

前述の通り、本研究の目的は東アジアの歴史和解を実現し、学問としての「和解学」に貢献するために、「和解」の歴史に新たな光を当て、歴史家ネットワークの機能を検証し、和解と和解学に貢献する歴史学(「新史学」)を追求することである。このようなことを目的に設定したのは、以下の理由による。

戦争や植民地支配終了後の歴史和解には三つの局面が考えられる。第一の局面は国家の戦略的思考から達成される政府間和解である。この時の戦略的和解が第2の局面、「国民レベルの和解」を引き起こしたが、日中間の「歴史認識」問題はその後歴史和解にブレーキをかけ続けた。政府間和解と国民レベルでの和解が動揺したのは、「知的和解」という和解の第3の局面が現れなかったからである。国民レベルでの和解を持続させる条件は、「歴史」の共有と「歴史認識」をめぐる相互理解である。しかし、日中両国は短期的な戦略的要請と、国民に広がった日中友好を優先課題とし、関係の安定化に不可欠な「共有知」の構築を怠ったのである。本研究チームは、「知的和解」に不可欠な「史実」に対する客観的な研究と、そのような研究に不可欠な歴史家ネットワークの検証、そしてこのネットワーク上に形成される「歴史知」のプラットフォームをベースに、共有できる「新史学」を共創することを目的にした。

## 3. 研究の方法

本研究は、上述三つの研究目的へのアプローチとして、歴史のなかの対立と和解をめぐ

る考察、 和解に貢献する歴史家の研究活動、交流活動及びそのネットワークの考察、 歴史和解と「和解学」に貢献する「新史学」をめぐる考察を行った。

### **歴史のなかの対立と和解をめぐる考察**

東アジアの近代史のなかで、対立と和解が繰り返されてきた。対立と和解の近代史を検証することは、今日の歴史和解と「和解学」の成立にとって貴重な参考を提供することはいうまでもない。歴史的考察を担当したグループは、和解対象国ないしは友好継続国の、内的論理に注目した。和解に至る、もしくは続けるためのプロセスを「縦軸」に設定し、なぜ和解が困難な国と、比較的容易な国があるのかを探った。一方、考察の「横軸」を外交、政治、軍事面に限らず、文化、経済、人的交流の面にも拡大して、縦軸と横軸の共鳴から新たな和解の地平が生まれることを提案した。

### **和解に貢献する歴史家の研究活動、交流活動及びそのネットワークの考察**

本研究チームは、日本、中国、台湾、韓国の歴史学者に対するインタビューを実施し、彼らが研究活動と交流活動のなかで構築した研究者ネットワークの実態と機能を検証した。インタビューした主な海外の研究者は、中国人4人、台湾人5人、韓国人2人であり、彼らから貴重な情報を入手することができ、これらの情報に基づいて、「知的和解」における歴史家の役割を考察した。また、人物の交流史を通して、ネットワークの機能と効果を検証した。

### **歴史和解と「和解学」に貢献する「新史学」をめぐる考察**

「和解学」は歴史問題が足枷となって歴史和解を妨げているメカニズムを解明し、未来に向けての和解の方法論を提示する学問である。このような定義から分かるように、「和解学」は、哲学、心理学、歴史学、政治学、社会学、経済学など、従来のさまざまな学問領域に依存する学際的な学問である。そのなかでも、「和解学」が対象とする事柄（対立）の誘因は「歴史」そのものであるため、歴史学は「和解学」と不可分な関係にある。「和解学」に対する歴史学の貢献は、歴史学の方法論に基づく歴史の研究以外に、「歴史」を政治から歴史学の領域内に取り戻し、マネジメント（研究）することも重要である。歴史の研究法、歴史と政治の分離法、歴史家共同体の構築法の三つの方法論が「和解学」に貢献する歴史学の課題である。この三つの方法論を探究する過程こそ、歴史学が他の学問分野とともに「和解学」に貢献する過程である。このような和解学に貢献する歴史学のことを「新史学」と定義し、この「新史学」に対する総合的研究は本研究チームの一貫した課題であった。

## **4. 研究成果**

本研究の成果として、12名の内外の「歴史研究者インタビュー記録集」を編集したほか、浅野豊美編『和解学叢書 1、和解学の試み—記憶、感情、価値』、劉傑編『和解学叢書 5、和解のための新たな歴史学—方法と構想』を公刊した。ここでは「和解学叢書」に即して研究成果を報告するが、その他の研究成果は、業績リストを参照されたい。

### **劉傑「和解学に貢献する新たな歴史学を目指して」**

研究代表の劉傑は、分担者との共同研究のなかで、和解学に貢献する歴史学のことを「新史学」と定義し、その新史学の具体像と創出の方法を提案した。この新史学は、国家間、国民間の和解を模索する「和解学」に三つの方法論を提供するものである。すなわち、新しい歴史の研究法、歴史と政治の分離法、歴史家共同体の構築法である。

新しい歴史学は、歴史資料のデジタル化とインターネットを介した資料公開の拡大に伴って発生した歴史学の大衆化に対応する歴史学、客観的な資料に主観的な感情記憶が

加わった歴史学、グローバル・ヒストリーの有効性を認めた歴史学である。劉傑は、今日の歴史学は、「大衆化」「多様化」「グローバル化」という時代の激変に遭遇している。これらの変化に対応する歴史学でなければ、「和解学」に貢献できない。また、歴史学自体の生命力の衰退をもたらすと指摘した。

#### **澁谷由里「中国前近代史にみる和解と融合」**

中国が他国や近隣地域に対して、何らかの不戦や和解を実施したい場合、朝貢冊封・羈縻・盟約のいずれか、またはその組み合わせや進化形で対処してきたことを、二千年強の歴史の中から具体的事例をあげて検討した。前近代の中国では上下関係が基準になっているものの、各王朝が武力ではかなわない、もしくは平和共存したいと思った相手には、譲歩や配慮をしてきたことを明らかにしている。

#### **城山英已「天皇訪中と『和解』の限界 封じ込められた反日感情」**

一九九二年における天皇初訪中「成功」の内実に、日中両国の関係者へのインタビューを通じて迫っている。民間人の反日感情を和らげたとして高く評価される裏側に、日中間の緊迫した外交上の駆け引きと、それを通じての日本側の、「賭け」にも近い中国側への信頼があり、また中国特有の民衆統制が、訪問中の抗議活動などを防止できたことを明らかにしている。

#### **タンシンマンコン・パッタジット「『妥協』の産物としての『和解』 タイ中関係・タイ日関係を事例として」**

日中だけでは硬直しがちな、アジアにおける和解のケーススタディとして、タイを間においた点で注目に値する。タイは日中両国との間にトラウマとなる「負の歴史的遺産」があまりなく、また両国が97年のアジア金融危機においてタイに援助を惜しまなかったことを、タイは両国への好感材料にしていると指摘し、また両国との良好な関係が、「蓮が傷まなければ水も濁らない」とのことわざに象徴される、タイの柔軟な外交文化に根差していることを明らかにしている。

#### **野口真広「歴史教育政策に関する日本と台湾との比較」**

日本と台湾の歴史教育の比較を通じて、日本の歴史教育に存在した問題点を指摘した。日本の学習指導要領に対する歴史家の批判を手がかりに戦後以来の変遷を考察し、教化性、物語性、民族への愛情などが相次いで学習指導要領に取り入れられ、国史的史観が次第に強化されていく過程を確認した。

#### **鄭成「心の和解における中国の歴史家の役割」**

現代中国社会のロシア認識の形成における中国人歴史家の役割を考察した。固定化された現代中国のロシア像は、中国国民のロシア理解を妨げ、国民同士の心の和解を妨害していると指摘した。中国人歴史家の研究と論説を考察し、中国人のロシア像が形成した要因を究明した。

#### **段瑞聡「『蒋介石日記と民国史研究者ネットワークの検証』**

2006年にアメリカ・スタンフォード大学フーバー研究所で公開された「蒋介石日記」を手がかりに、日本、中国と台湾の中国近現代史研究者が形成された研究ネットワークとその研究成果について考察した。蒋介石研究の変化が日本、中国及び台湾の歴史家のネットワーク形成を促進していることを確認した。

#### **馬曉華「グローバル化時代における和解構築の課題と挑戦」**

日中両国の博物館の戦争展示を事例として、和解を実現するための課題を検討した。

中国の「中国人民抗日戦争記念館」や「侵華日軍南京大屠殺遇難同胞記念館」と日本の「広島平和記念資料館」、「長崎原爆資料館」、「沖縄県平和祈念資料館」などと比較し、戦争に関する「オフィシャルな記憶」の形成の問題点を明らかにした。

#### **木宮正史「日韓歴史和解をめぐる政治学：歴史葛藤の抑制メカニズムとその機能不全」**

日韓歴史問題の抑制メカニズムとその機能について冷戦期とポスト・冷戦期に分けて分析した。また、政治指導者の個性は、歴史摩擦を抑制するための一つの条件として実証的に明らかにした。

#### **前嶋和弘「奴隷制というアメリカの『原罪』をめぐる和解の難しさ」**

アメリカの人種問題から和解にアプローチした研究である。本研究は『ニューヨーク・タイムズ』の主導下で進められている「1619 プロジェクト」および奴隷制をめぐる連邦議会や民間などでの謝罪や補償の動きなどについて論じ、人種問題をめぐる和解の難しさを浮き彫りにしている。

**本研究チームは若手研究者の育成にも力を入れた。研究成果を取りまとめるにあたって、若手研究者の成果も積極的に取り入れた。以下その概要を報告する。**

#### **桑原太朗「日中の『対支文化事業』言説からみる『和解』の可能性と限界 日中『共同』事業模索をめぐる一」**

本成果は、一九二〇年代の日本が、中国への文化的貢献をうたいながら政治・外交色を払拭できず、中国側の不信を招くプロセスを跡付け、政治・外交から距離を保って日中共同の文化事業を行う難しさを検討した。今後の学術共同研究や文化交流に対して、日中双方が利益を享受できる事業ならば成功する可能性を指摘し、示唆に富む。

#### **矢野真太郎「日中『経済提携』と和解 一九三〇年代における関係改善の模索」**

一九三〇年代の経済提携案が破綻する原因を探りつつ、両国の今後の密接な経済関係が和解に貢献できるか、という野心的な問いを立てている。一見効率の悪い長期的対話の継続とそれによる相互理解の蓄積、また自国を優位において相手国を見下し、その自立や発展を無視して関係を固定しようとする危険性についての指摘は、日中間、あるいは経済関係に限らない普遍性を持っている問題である。

#### **黄斌「李大釗と日中間の知識人ネットワーク」**

中国共産党の創始者として知られる李大釗の日本留学及び日本人知識人との知的交流を考察している。主に河上肇を通じてのマルクス主義受容と吉野作造との交流を取り上げている。李大釗を中心とする日中間の知識人の対話が成功しなかった理由について、対話の不均衡が指摘されている。

#### **駱豊「日中歴史家ネットワークの端緒」**

本成果は、戦後の日中間の歴史家の相互交流を考察した内容である。考察の対象は、一九五五年と一九六三年に行われた中国学術代表団による二回の訪日及び一九六四年の日本研究者による北京科学シンポジウムへの参加である。これは国交がなかった時代における日中両国歴史家同士の貴重な交流となった。本成果は、時代の制限を受けた歴史家同士の交流の実態を明らかにしている。

**以上の成果のほか、本研究の分担者は「東アジア歴史紛争和解事典」を分担して執筆し続けており、和解学の基礎的環境の整備と成果の公開に貢献した。**

以上。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計71件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 17件）

1. 著者名 森川裕二	4. 巻 11
2. 論文標題 東アジアの連帯に向けた研究回路の構築－周縁的アプローチとしての間主観的秩序	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 21世紀東アジア社会学	6. 最初と最後の頁 21-3
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 202
2. 論文標題 構造変容に直面し『迷走』する日韓関係 何を指し、どのように克服するか	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 政策オピニオン（平和政策研究所）	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史(KIMIYA Tadashi)	4. 巻 2
2. 論文標題 The Structural Transformation of South Korea-Japan Relations amid the North Korean Nuclear Crisis and U.S. -China Confrontation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 KOREA INSIDE OUT(Seoul National University, Institute of International Affairs)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 1-38
2. 論文標題 日本の岸田政権出帆以後韓日関係の展望(韓国語)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Asia Brief Current Issues and Policy Implications (Seoul National University Asia Center.)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 198
2. 論文標題 尹大統領誕生が示す日韓関係改善の糸口	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊公明	6. 最初と最後の頁 36-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KIMIYA Tadashi	4. 巻 27
2. 論文標題 The Political Dynamism of South Korea-Japan Relations and Its Potentialities for Academic Collaboration	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES	6. 最初と最後の頁 19-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 2023-3
2. 論文標題 韓日関係の対称性と相互協力方案	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 JPI Peace Net ( 済州平和研究院 )	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 93
2. 論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 国際情勢紀要	6. 最初と最後の頁 57-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 23(3)
2. 論文標題 状況変化に対応する「次世代型の日米同盟」へ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 リベラルタイム	6. 最初と最後の頁 22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 100(7)
2. 論文標題 米国の落日：「ベトナム戦争以上」の失策、抜け出したかった「底なし沼」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 エコノミスト	6. 最初と最後の頁 78-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉傑	4. 巻 2022 - 2
2. 論文標題 近代中国の対外関係と東アジア	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 近代東アジアの安全保障環境	6. 最初と最後の頁 46 - 61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉傑	4. 巻 2022 - 3
2. 論文標題 東亜地域の歴史和解問題――中日関係を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『日本研究』(遼寧大学)	6. 最初と最後の頁 24 - 42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 鄭成	4. 巻 73
2. 論文標題 中国建国初期の小中学校における思想政治教育 トレーニングとしての愛国主義教育	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東京大学社会科学研究所『社会科学研究』	6. 最初と最後の頁 81-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34607/jssiss.73.1_81	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鄭成	4. 巻 43
2. 論文標題 中国建国初期の芸術家の思想統制への順応に関する一考察 映画人蔡楚生を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 早稲田大学アジア太平洋研究センター『アジア太平洋討究』	6. 最初と最後の頁 103 -121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.57278/wiapstokyu.43.0_103	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 澁谷由里	4. 巻 1003
2. 論文標題 書評 及川琢英『帝国日本の大陸政策と満洲国軍』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 63-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鄭成	4. 巻 40
2. 論文標題 建国初期における青年知識人の社会主義への思想転向	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 早稲田大学アジア太平洋研究センター『アジア太平洋討究』	6. 最初と最後の頁 79-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.57278/wiapstokyu.40.0_79	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 25(9)
2. 論文標題 日韓の葛藤とその構造的要因：学術協力の役割は何か	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 22-25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.5363/tits.25.9_22	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 20
2. 論文標題 特別リポート 日韓関係改善への道筋	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ブリタニカ国際年鑑2020年版	6. 最初と最後の頁 114-116
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 タンシンマンコン・パッタジット	4. 巻 58(1)
2. 論文標題 タノーム政権期におけるタイの対中認識と政策の変化 「敵対」と「和解」の論理を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東南アジア研究	6. 最初と最後の頁 3-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 タンシンマンコン・パッタジット	4. 巻 4
2. 論文標題 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 次世代論集	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 劉傑	4. 巻 25(9)
2. 論文標題 中国の「一帯一路」政策とアジアの「知の共同体」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 9_18-9_21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5363/tits.25.9_18	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 段瑞聡	4. 巻 116
2. 論文標題 戦後日本対二戦期間外交軍事的反省述評	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 抗日戦争研究	6. 最初と最後の頁 58 - 67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 劉傑	4. 巻 1-2
2. 論文標題 中日関係の演変と第2次日中和解	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 韓国成均館大学《中国社会科学論叢》	6. 最初と最後の頁 137-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉傑	4. 巻 1
2. 論文標題 和解に向けた歴史家ネットワークのために	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Toward the future of Asia : My proposal アジアの未来へ 私の提案	6. 最初と最後の頁 25-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉傑	4. 巻 93号
2. 論文標題 中国研究の新視座	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代中国 = Modern China : 研究年報	6. 最初と最後の頁 70-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉傑	4. 巻 5
2. 論文標題 新アジア学・日本学の創成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 多文化社会研究	6. 最初と最後の頁 281-285
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鄭成	4. 巻 37
2. 論文標題 中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令营を手がかりに	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア太平洋討究	6. 最初と最後の頁 165 - 179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 澁谷由里	4. 巻 78
2. 論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心にー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋史研究	6. 最初と最後の頁 104-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 タンシンマンコン・パッタジット	4. 巻 25
2. 論文標題 タイの2つの「10月事件」期における中国認識-右派と左派の綱引	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ソシオサイエンス	6. 最初と最後の頁 84-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 3
2. 論文標題 日本から見た2019年朝鮮半島と北朝鮮問題 (韓国語)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Korea Report POSTEC Peace Institute	6. 最初と最後の頁 26-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野口真広	4. 巻 21
2. 論文標題 台湾留学生による政治・社会的なネットワーク形成に関する試論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 87-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋 和弘	4. 巻 22
2. 論文標題 トランプ政権の移民政策：ヒスパニック系移民に対する対応を中心として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ワセダ アジアレビュー	6. 最初と最後の頁 70-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋 和弘	4. 巻 706
2. 論文標題 トランプ政権の対中政策：分断する米中経済とその行方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 世界経済評論	6. 最初と最後の頁 6-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 1.李恩民	4. 巻 9
2. 論文標題 東南アジアにおける中国の対外援助：現場からの報告	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際学研究	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉傑	4. 巻 -
2. 論文標題 和解に向けた歴史家ネットワークのために	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Toward the future of Asia : My proposal アジアの未来へ 私の提案	6. 最初と最後の頁 2019
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬立誠×栄剣×劉傑×川島 真	4. 巻 132巻11号
2. 論文標題 「戦略的な和解」から「国民主導の和解」へ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中央公論	6. 最初と最後の頁 118-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 劉傑	4. 巻 -
2. 論文標題 「大国化」する中国をどう捉えるのかー日本の中国研究を考える	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国の大国化とアジアー学際的検討	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 劉傑	4. 巻 -
2. 論文標題 蒙古襲来と13世紀モンゴル帝国のグローバル化 (総合討論)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「日本・中国・韓国 国史対話の可能性」	6. 最初と最後の頁 142-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 段瑞聡	4. 巻 12
2. 論文標題 戦後初期国民政府の対日講和構想 3つの講和条約草案を手がかりに	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国研究	6. 最初と最後の頁 1-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 段瑞聡	4. 巻 7
2. 論文標題 中国国民党・国民政府史研究の現状と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究中国	6. 最初と最後の頁 36-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 段瑞聡	4. 巻 109
2. 論文標題 戦後初期国民政府対日外交初探：以1948年張群訪日為線索	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 抗日戦争研究	6. 最初と最後の頁 104-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 -
2. 論文標題 3年目を迎えたトランプ政権の外交・安全保障	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 インテリジェンス・レポート	6. 最初と最後の頁 17-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 -
2. 論文標題 トランプ政権の対中政策：2017-2018、そして今後	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際情勢紀要	6. 最初と最後の頁 105-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 13
2. 論文標題 アメリカの政治的分極化	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際行動学研究	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 48
2. 論文標題 アメリカ大統領とアメリカ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The English journal	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 47
2. 論文標題 中国をめぐる日韓関係：韓国、朝鮮半島から見た日本の対中認識、政策（韓国語）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本研究論叢（韓国語）	6. 最初と最後の頁 141-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 613
2. 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ：東アジアの構造変容と日本外交の可能性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 20-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 2018冬季
2. 論文標題 韓日間の歴史和解はなぜ必要か：韓日間の戦略選択をめぐって（韓国語）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 韓日協力（韓国語）	6. 最初と最後の頁 52-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 澁谷由里	4. 巻 復刊636
2. 論文標題 中国の『本質』を考えるー 軍 と 政 、葛藤の歴史ー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 交詢雑誌	6. 最初と最後の頁 50-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森川裕二	4. 巻 21
2. 論文標題 アジアにおける知のプラットフォーム	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 92-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森川裕二	4. 巻 5
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 多文化社会研究	6. 最初と最後の頁 255-303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鄭成	4. 巻 21
2. 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 82-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鄭成	4. 巻 36
2. 論文標題 中ソ文化交流をめぐる中国の青年知識人の受容－日記を手がかりに	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア太平洋討究	6. 最初と最後の頁 91-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 野口真広	4. 巻 20
2. 論文標題 台湾地方自治連盟による 1933 年の朝鮮地方自治制度視察の意義 楊肇嘉の構想する台湾地方自治制度の参照として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本台湾学会報	6. 最初と最後の頁 148-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野口真広	4. 巻 21
2. 論文標題 台湾留学生による政治・社会的なネットワーク形成に関する試論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 87-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野口真広	4. 巻 10
2. 論文標題 若者と東アジアの民主主義 : 危機と平和の可能性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 早稲田平和学研究	6. 最初と最後の頁 73-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 段瑞聡	4. 巻 創刊号
2. 論文標題 台湾衛生医学における高木の役割	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高木友枝：台湾衛生学の父	6. 最初と最後の頁 42-49
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 段瑞聡	4. 巻 創刊号
2. 論文標題 高木の弟子・杜聡明	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高木友枝：台湾衛生学の父	6. 最初と最後の頁 50-59
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 段瑞聡	4. 巻 創刊号
2. 論文標題 高木と台湾電力会社	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高木友枝：台湾衛生学の父	6. 最初と最後の頁 60-64
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 段瑞聡	4. 巻 11
2. 論文標題 書評：張憲文、張玉法主編『中華民国專題史』（全18巻、南京大学出版社、2015年）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 慶應義塾大学日吉紀要『中国研究』	6. 最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 66
2. 論文標題 文在寅政権が抱える安全保障と統一のジレンマ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 政策オピニオン	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木宮正史	4. 巻 13
2. 論文標題 北東アジア安保と朝鮮半島の統一そして日本：北朝鮮核危機を機会とした北東アジア平和構築に向かって	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The 13th DMZ Peace Prize & DMZ World Peace Symposium	6. 最初と最後の頁 83-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 劉傑	4. 巻 53
2. 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 軍事史学	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉傑	4. 巻 2017/5
2. 論文標題 巻頭言 「北朝鮮危機と日米中関係の再構築」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 新国策	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Xiaohua Ma (馬曉華)	4. 巻 Vol.3, No.1
2. 論文標題 "Rethinking Peace-Building in East Asia: The Case of Japan's Struggle over History in Postwar Era"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Contemporary Chinese Political Economy and Strategic Relations	6. 最初と最後の頁 181-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Xiaohua Ma (馬曉華)	4. 巻 150
2. 論文標題 "Museum Wars: Japan's Struggle over History and Identity in the Global Era" (査読有)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Orientaliska Studier (Sweden)	6. 最初と最後の頁 42-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森川祐二	4. 巻 4巻
2. 論文標題 「朝鮮半島から見た東アジアの日本の「平和」」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『多文化社会研究』	6. 最初と最後の頁 475 ~ 492
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森川祐二	4. 巻 1
2. 論文標題 北東アジアとトランプ後の国際秩序 - 実証・実在論の相補的視座から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 北東アジア学会『新しい国際関係下の北東アジア地域協力 予稿集』	6. 最初と最後の頁 15 ~ 22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森川祐二	4. 巻 1
2. 論文標題 東アジア共生的秩序とその方法	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 科学研究費新学術領域研究『和解に向けた歴史家共同研究ネットワークの検証』	6. 最初と最後の頁 40～45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鄭成	4. 巻 第30号
2. 論文標題 建国初期の科学研究者によるイデオロギー宣伝協力についての一考察」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 早稲田大学アジア太平洋研究センター『アジア太平洋討究』	6. 最初と最後の頁 225-235
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鄭成	4. 巻 第20号
2. 論文標題 中ソ友好・交流と中国人の対外意識への影響	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 総合学術誌『アリーナ』	6. 最初と最後の頁 180-192
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計125件（うち招待講演 29件／うち国際学会 61件）

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 建国初期の青年党幹部の自己教育
3. 学会等名 「毛沢東時代の暴力とイデオロギー」ワークショップ、京都大学人文科学研究所共同研究班
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 1950年代建国初期の知識人の思想的変容
3. 学会等名 日本現代中国学会関東部会定例研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 中国建国初期の芸術家の思想統制への順応に関する一考察 映画人蔡楚生を中心に
3. 学会等名 京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター「20世紀中国史の資料的復元」研究班
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 建国初期中国の社会主義プロパガンダ受容についての一考察 政治性と芸術性の狭間にある映画人
3. 学会等名 アジア政経学会2021年度春季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 中ソ文化交流をめぐる中国の青年知識人の受容について
3. 学会等名 2018年度アジア政経学会秋季大会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2. 発表標題 Orientalism from Within: Representation of Southeast Asia in History Textbooks of Japan, China, and Thailand
3. 学会等名 Global Asian Studies Joint Workshop, IASA, UTokyo X CoHASS, NTU  Singapore
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2. 発表標題 The Changing Thai Perceptions of Japan: from Animosity to Popularity
3. 学会等名 FY2021 Waseda Social Innovation Online Symposium
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2. 発表標題 小国のタイから見た中国 敬遠外交と両面外交の一考察
3. 学会等名 北東アジア学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2. 発表標題 米中和解に対するタイの対応
3. 学会等名 歴史と和解学国際ワークショップ(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野口真広
2. 発表標題 台湾人民族運動家「楊筆嘉」のアーカイブから見た「立憲主義」
3. 学会等名 第20回 日本台湾学会関西支部会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 李恩民
2. 発表標題 How Difficult it is to the road of Sino-Japanese Historical Reconciliation!
3. 学会等名 International Workshop "The Development of Reconciliation Studies in East Asia" (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 李恩民
2. 発表標題 Between Reconciliation and Justice: A Japanese-Style Model for the Settlement of Historical Issues
3. 学会等名 the14th international Academic Conference and Symposium of the Society for Cultural Interaction in East Asia (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 近年日本における日中戦争に関する研究（近年日本の中国抗戦史研究）」
3. 学会等名 「日本軍金山衛上陸と中国抗戦」国際シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 中国の戦後講和構想から日中歴史認識問題の根源を探る
3. 学会等名 「日中関係の歴史、現状と未来」日中国交正常化50周年記念学術シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 日本における大韓民国臨時政府に関する研究について
3. 学会等名 The Historical value of the Korean Provisional Government and The Pursuit of Its Historical Perspectives in the World”（韓国・ソウル）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 衆議院選挙からみる日中関係
3. 学会等名 南開日本研究フォーラム「衆議院選挙後日本の政局と外交」学術シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 21世紀以来日本における日中戦争に関する研究について（新世紀以来日本有関中日戦争研究述評）
3. 学会等名 21世紀以来日本における日中戦争に関する研究について（新世紀以来日本有関中日戦争研究述評）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国大統領選挙と韓国政治外交の展望、そして日韓関係
3. 学会等名 世宗研究所日本研究センター主催『韓国大統領選挙と東アジア情勢』（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 対称的・相互競争関係下の日韓学術協力の可能性
3. 学会等名 日本学術会議地域研究委員会アジアの地域協力と学術ネットワーク構築分科会主催公開国際シンポジウム『戦後アジアの地域再編と学術の共同 分断・協調・再分断を超えて』（国際学会）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 非対称な相互補完的關係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係：歴史問題にどのように取り組むべきか
3. 学会等名 東京大学韓国学研究中心・韓日未来フォーラム共催 第9回日韓ジャーナリスト国際シンポジウム『米中葛藤と対北朝鮮政策、そして危機の日韓関係』（国際学会）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木宮正史 (KIMIYA Tadashi)
2. 発表標題 The Structural Transformation of South Korea-Japan Relations amid the Intensification of the US-China Strategic Rivalries
3. 学会等名 Ministry of Korean Unification, 2021 Korea Global Forum for Peace: New Vision for Inter-Korean Relations and Community for Peace, Economy and Life of the Korean Peninsula (招待講演) (国際学会) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木宮正史 (KIMIYA Tadashi)
2. 発表標題 South Korea-Japan Relations amid the US-China Strategic Rivalry and NK Nuclear Crisis
3. 学会等名 韓国国立外交院日本研究センター主催『済州平和フォーラム 東アジアの持続可能な平和のための韓日関係再構築』（招待講演）（国際学会）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 朝鮮半島情勢の行方と日韓関係
3. 学会等名 平和政策研究所 / UPF-Japan 『Think Tank 2022 FORUM ILC特別懇談会 朝鮮半島と北東アジア情勢の展望』（国際学会）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 激化する米中対立・持続する北朝鮮核危機の中、非対称な相互補完的關係から対称な相互競争關係へと変容する日韓關係：我々を何を考え、どう対応するのか
3. 学会等名 駐新潟大韓民国総領事館主催・新潟日報社共催『韓日関係フォーラム あすの交流・連携を考える』（国際学会）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 対称的・相互競争關係下のSNU/UTokyo学術協力の可能性
3. 学会等名 第5回東京大学/ソウル大学フォーラム（招待講演）（国際学会）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 日韓関係のダイナミズムと学術協力の限界・可能性
3. 学会等名 日韓国際シンポジウム：2022年日韓新政権以来の日米韓協力方策と言・産・官・学の課題（招待講演）（国際学会）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 対称相互競争的關係に変容する日本と韓国：北朝鮮核危機、米中対立、ロシアのウクライナ侵攻などの激動期国際關係にどのように対応するのか？（韓国語）
3. 学会等名 韓国現代日本学会主催『国際情勢と韓日關係』（招待講演）（国際学会）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 非対称的相互補完的關係から対称的相互競争的關係に変容する日韓關係：歴史問題、北朝鮮核危機、米中対立に対してどのように対応すべきか：『日韓關係史』をめぐって）（韓国語）
3. 学会等名 韓国高麗大学アジア問題研究所主催研究会（招待講演）（国際学会）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国の第20代大統領選挙、尹錫悦新政権と韓国外交、そして日韓關係
3. 学会等名 東京フォーラム主催『第200回東京フォーラム記念大会』（招待講演）（国際学会）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国新政権による対北朝鮮関係の今後の課題と展望
3. 学会等名 国際情勢研究所研究会（招待講演）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 対称的・相互競争の関係に変容する日韓：激動する国際関係にどのように対応するのか？
3. 学会等名 横浜市立大学地域貢献センター・駐横浜大韓民国総領事館主催『日韓の課題解決に向けたシンポジウム「経済・政治外交・文化面における日韓関係のあり方」』（招待講演）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 激動する国際政治の中での韓国・朝鮮半島の軌跡と展望：冷戦・分断下の体制劣勢・開発独裁から 体制優位・先進民主主義国へ
3. 学会等名 九州大学韓国研究センター・九州韓国研究者フォーラム主催『『世界史』の中の韓国 その構造変動に関する総合的研究』（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 American Domestic Politics and U.S.-Japan Relations
3. 学会等名 SMU Tower Center and its Sun & Star Program on Japan and East Asia. Southern Methodist University
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 日本におけるアメリカ研究の現在
3. 学会等名 カルコン(日米文化教育交流会議)シンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 近代中国の対外関係と東アジア
3. 学会等名 防衛省防衛研究所
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 歴史認識と歴史和解
3. 学会等名 武漢大學日本與東亞講座系列・武漢大学日本研究センター
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 和解学に貢献する歴史学
3. 学会等名 歴史と和解学ワークショップ・早稲田大学東アジア国際関係研究所
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 建国初期の青年党幹部の自己教育
3. 学会等名 毛沢東時代の暴力とイデオロギー」ワークショップ、京都大学人文科学研究所共同研究班
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 1950年代建国初期の知識人の思想的変容
3. 学会等名 日本現代中国学会関東部会定例研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 中国建国初期の芸術家の思想統制への順応に関する一考察 映画人蔡楚生を中心に
3. 学会等名 京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター「20世紀中国史の資料的復元」研究班
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 建国初期中国の社会主義プロパガンダ受容についての一考察 政治性と芸術性の狭間にある映画人」
3. 学会等名 アジア政経学会2021年度春季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 中露和解と中国の歴史研究者
3. 学会等名 「歴史と和解学」国際ワークショップ（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 建国初期における青年知識人の社会主義への思想転向
3. 学会等名 筑波大学科研基盤B「1950年代、中国共産党権力の社会への浸透とその矛盾に関する共同研究」研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 中ソ友好時代の文化的遺産
3. 学会等名 東京大学科研基盤C「中華圏におけるナショナリズムとリベラリズム：連関する大陸中国・台湾・香港」研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 中露和解と中国の歴史研究者
3. 学会等名 「歴史と和解学」国際ワークショップ
4. 発表年 2020年～2021年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 北東アジア国際関係の変容と激化する日韓葛藤（韓国語）
3. 学会等名 第1回サンド東北アジア国際フォーラム北東アジアパラダイムの変化と朝鮮半島の進路（招待講演）（国際学会）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2. 発表標題 戦後タイにおける日本認識の変遷 1980年代を中心に
3. 学会等名 the 5th Asia Future Conference（第5回アジア未来会議）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 新時期日中協力の必要性と可能性について
3. 学会等名 首都師範大学東アジア地域史学術シンポジウムおよび東アジア歴史研究センター成立大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 北東アジア国際関係の変容と激化する日韓葛藤（韓国語）
3. 学会等名 第1回サンド東北アジア国際フォーラム北東アジアパラダイムの変化と朝鮮半島の進路（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 北東アジア国際関係の変容と高潮する日韓葛藤（韓国語）
3. 学会等名 ソウル新聞平和研究所2019秋季セミナー 韓日関係と韓半島平和プロセス（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 北東アジア国際関係の変容と高潮する日韓葛藤（韓国語）
3. 学会等名 韓国忠南大学主催東アジア国際秩序と韓半島：周辺国の観点（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 朝鮮半島情勢と日韓関係（韓国語）
3. 学会等名 International Leadership Conference “ Toward Peace and Security in Northeast Asia: Interdependence, Mutual Prosperity and Universal Values（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 中国をめぐる日韓関係
3. 学会等名 Commemorative Seminar on The 20th Anniversary of China-Japan-Korea Trilateral Cooperation（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 日韓関係の原状と展望
3. 学会等名 朝鮮問題を考えるジャーナリスト懇話会主催「朝鮮問題勉強会」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 1950年代の中国における青年知識人の「平和的」転向について
3. 学会等名 20世紀メディア研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2. 発表標題 福田ドクトリンとタイの知識人の反応
3. 学会等名 第四回東アジア日本研究者協議会国際学術大会 次世代パネル：近現代日本外交と東アジアの知識人、台湾
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2. 発表標題 タイにおける華人同化政策と華人の位置づけの変遷
3. 学会等名 ポストスハルト期におけるインドネシア華人の文化とアイデンティティ ネットワークの観点からの考察 第2回研究会、立教大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2. 発表標題 タノーム政権期におけるタイ中の相互認識と政策 「敵対」と「和解」の論理
3. 学会等名 日本タイ学会2019年度研究大会、東京
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 習近平時代の中国と日中関係－「知のプラットフォーム」を目指して
3. 学会等名 早稲田大学社会科学部稲門会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 日本外交官の中国認識と対中国政策
3. 学会等名 台湾中国文化大学・one asia財団主催 全国大学生と大学院生研修塾（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 アジア通外交官芳澤謙吉のこと
3. 学会等名 芳澤謙吉記念館（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 知のプラットフォームとしての現代日本学
3. 学会等名 新アジア学・日本学の創成 - 長崎からアジア、そしてグローバルは普遍性を目指す (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 中国通外交官石射猪太郎をめぐる人びと
3. 学会等名 霞山会創立70周年記念シンポジウム「人物からたどる近代日中関係史 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 日中歴史問題と和解学
3. 学会等名 愛知大学国際中国学センター主催ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 日中歴史対話と和解学
3. 学会等名 ICCS (愛知大学国際中国学センター) 国際シンポジウム「新時代の日中対話の試みー現代中国学方法論の構築を求めて」 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 中国の大国化と歴史観の変遷 歴史対話を手がかりに
3. 学会等名 成均館大学成均中国研究所と早稲田大学現代中国研究所共同シンポジウム「習近平時代をどのように解釈するか」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 「中国改革開放40年と日中関係」
3. 学会等名 “改革開放史研究：回顧與展望” 研討会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 『蒋介石日記』と民国史研究者ネットワークの検証
3. 学会等名 国際シンポジウム「和解に向けての『新史学』」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 歴史研究のグローバル化と歴史教育の社会化ー一分断国家の視点を兼ねて
3. 学会等名 第4回アジア未来会議「第3回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」パネルディスカッション「和解に向けた歴史家共同研究ネットワークの検証」(国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 福田ドクトリンと日中関係ー全方位平和外交理念の継承と発展
3. 学会等名 「平和の実践」ワークショップ（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 中日歴史認識問題與中日關係
3. 学会等名 北京大学人文講座第190講（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 關於新時代中日關係的思考
3. 学会等名 北京大学海外學者講座（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 關於日本平成時代的思考
3. 学会等名 西南交通大学創源大講堂研究生學術講座第167講（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 米朝首脳会談をめぐる東アジアの安全保障：トランプ政権の視点
3. 学会等名 日本防衛学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 The Trump Revolution: Views from Japan
3. 学会等名 21ST Annual Japan-EU Conference, Egmont Royal Institute for International Relations, Brussels (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国における国家形成とその変容：脱植民地化をめぐる競争・「企業家的国家」による体制競争・ポスト競争下の「先進国化」
3. 学会等名 The 4th Interium Meeting: Transnational Joint Research On the History of Asia in the 20th Century (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 東アジアにおける多層的パワー・シフトと朝鮮半島核危機：その「軟着陸」に向けて
3. 学会等名 国際シンポジウム 「緊張と対話 東アジアの行方」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 1970年代グローバル冷戦のデタント化と韓国外交：対共産圏外交と第3世界外交に焦点を当てて
3. 学会等名 大韓民国外交史研究国際ワークショップ：韓半島冷戦史をめぐる韓日共同研究会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国における国家形成とその変容：脱植民地化をめぐる競争・「企業家的国家」による体制競争・ポスト競争下の「先進国化」
3. 学会等名 JIIA公開シンポジウム 20世紀アジアを振り返る－国際関係と国家建設の視点から－（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 日韓における歴史和解と日韓協力の現状と展望
3. 学会等名 第1回歴史和解のための日韓フォーラム（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 文在寅政権の対北朝鮮和解協力政策と日韓関係：歴代政権との比較
3. 学会等名 金大中 小渕恵三共同宣言20周年と東アジア未来のビジョン（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 和解学の困難さ：韓国正義・日本正義
3. 学会等名 第2回歴史和解のための日韓フォーラム（招待講演）（国際学会）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 南北「統一民族主義」の競争（韓国語）
3. 学会等名 韓国国際政治学会3・1運動100周年記念特別学術大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 日韓関係をどう「科学」し、「実践」するのか
3. 学会等名 第18回日韓アジア未来フォーラム 日韓関係の現在地と改善案（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 自著『ナショナリズムから見た韓国・北朝鮮近現代史』を語る
3. 学会等名 冷戦史研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 大学（院）教育としてのアジア地域研究の意義と役割：日本学術会議における議論を中心にして
3. 学会等名 アジア政経学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬曉華(Xiaohua Ma)
2. 発表標題 The Nordic Model for the Reconciliation in East Asia
3. 学会等名 Shanghai Forum (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬曉華
2. 発表標題 大国の台頭：米中関係の歴史的回顧
3. 学会等名 米国外交伝統と中米関係の走向学術研討会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬曉華(Xiaohua Ma)
2. 発表標題 War Memory, History Education, and Reconciliation in a Global Era-Challenges and Prospects for the Sino-Japanese Relations
3. 学会等名 International Conference on Education and Social Sciences (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬曉華(Xiaohua Ma)
2. 発表標題 History Teaching in the Global Era: Seeking Common Ground for Conflict-Solving
3. 学会等名 The 2nd International Conference on Research in Social Studies and Humanities (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬曉華(Xiaohua Ma)
2. 発表標題 War Memory, History Education and Peace-Building in East Asia
3. 学会等名 Asia-Pacific Conference on Education, Social Studies and Psychology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 日本への留学生と彼らのその後 中国・韓国・台湾の比較の観点から(日本の事例)
3. 学会等名 日本国際文化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 中ソ文化交流をめぐるー中国の青年知識人の受容について」
3. 学会等名 アジア政経学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口真広
2. 発表標題 日本への留学生と彼らのその後 中国・韓国・台湾の比較の観点から（台湾の事例）
3. 学会等名 日本国際文化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口真広
2. 発表標題 戦後直後における日本人の植民地記憶 植民地史像の再検討の一例として
3. 学会等名 北東アジア学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口真広
2. 発表標題 英国植民政策が日本に与えた知的影響の検証 エジャートンと永井柳太郎を通して
3. 学会等名 台湾中央研究院台湾史研究所主催国際会議 Japanese Empire and Colonies: Population Flows and Cross-border III
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口真広
2. 発表標題 The Yang Zhaojia's intellectual diversion for the Japanese Empire's constitutionalism: Rethinking Taiwanese constitutionalism origin's history
3. 学会等名 台湾政治学会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口真広
2. 発表標題 植民地台湾の自治
3. 学会等名 高麗大学アジア問題研究所（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澁谷由里
2. 発表標題 馮玉祥と張作霖－『孫文大總統』擁立構想をめぐる－
3. 学会等名 「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想　以3部和約草案為中心
3. 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下の民国」国際學術討論会、香港中文大学（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 1948年張群訪日之分析
3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戰爆發八十周年国際學術研討会」、北京（国際学会）
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 日本学界關於“中日戦争”和“亞洲太平洋戦争”称呼之討論
3. 学会等名 上海社会科学院歴史研究所、南開大学歴史学院主催「“日中戦争史研究新動向”国際シンポジウム」、上海社会科学院歴史研究所（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 1948年張群訪日之分析
3. 学会等名 中央研究院近代史研究所主催「和解への道：日中戦争の再検討」、台湾・中央研究院近代史研究所（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 從4個“主義”看民国史研究
3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「第四屆中華民國史高峰論壇“全球史視野下的民国史研究”国際學術研討会」、北京（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 段瑞聡
2. 発表標題 最近5年日本における日中戦争に関する研究状況（2013-2017）
3. 学会等名 南開大学歴史学院主催「中国現代史研究第1回ワークショップ：抗戦時期的中国社会（1931-1945）」、南開大学（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国国家の形成と変容：脱植民地化・「企業家的国家」による競争・ポスト競争下の「先進国化」
3. 学会等名 日本国際問題研究所主催「The 2nd Interium Meeting: Transnational Joint Research On the History of Asia in the 20th Century」、東京プリンスホテル（港区）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 民主化と国際政治：韓国の民主化過程を事例として
3. 学会等名 韓国政党学会・大韓民国歴史博物館主催「629民主化宣言30周年記念学術大会 629民主化宣言と韓国民主主義」、韓国プレスセンター国際会議室（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 Advantages and Difficulties of Korean Studies in Japan, the University of Tokyo, and the Contents of Our Projects to overcome these Difficulties
3. 学会等名 The Academy of Korean Studies Cosponsor, AKS Core University Program for Korean Studies Directors' Meeting, UNIVERSTAT TUBINGEN, (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 日韓関係の「失われた19年」を振り返って：日韓パートナーシップ宣言とその後
3. 学会等名 韓日未来フォーラム・延世大学金大中図書館・民主研究院主催「金大中・小渕宣言19周年記念 韓日パートナーシップ宣言と未来志向的な日韓関係の構築」、韓国延世大学金大中図書館大会議室（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 北東アジア安保と朝鮮半島統一、そして日本：北朝鮮核危機を機会に北東アジアの平和構築を（韓国語）
3. 学会等名 DMZ 学院院主管、江原道・江原日報共催、2017年 DMZ 平和国際シンポジウム『北東アジアの戦争と平和』、韓国インジェスピディアム（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国国家の形成と変容：脱植民地化・「企業家的国家」による競争・ポスト競争下の「先進国化」
3. 学会等名 日本国際問題研究所主催、The 3rd Interium Meeting: Transnational Joint Research On the History of Asia in the 20th Century, 日本国際問題研究所大会議室
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 文在寅政権の展望：政治外交を中心に
3. 学会等名 現代韓国朝鮮学会・慶應義塾大学現代韓国研究センター共催「文在寅政権の韓国を展望する」、慶應義塾大学南校舎455号（港区）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国文在寅政権の展望をめぐって
3. 学会等名 北東アジア研究交流ネットワーク主催 第39回政策セミナー「2017年・世界とアジア、激動の年：北東アジア情勢分析」、大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス2F大研修室（港区）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 米中国益第一主義の狭間の朝鮮半島：韓国政治の不確実性と北朝鮮政治の硬直性
3. 学会等名 アジア政経学会2017年研究大会 共通論題「2017：不確実性の時代のアジアと世界」、一橋大学（国立市）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国文在寅政権と朝鮮半島をめぐる国際政治
3. 学会等名 平和政策研究所主催「有識者マスコミ懇談会」、アルカディア市ヶ谷（千代田区）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木宮正史
2. 発表標題 韓国文在寅政権の登場と朝鮮半島をめぐる国際政治の展開
3. 学会等名 日本アカデミア主催「日本アカデミア勉強会」、ホテルオークラ別館2階メイプル、講演と質疑応答
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 中日関係史中的親日派與親華派-----兼談日本外交文書中的汪精衛
3. 学会等名 中央研究院近代史研究所（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 日中関係史のなかの「汪兆銘研究」
3. 学会等名 台湾中央研究院主催国際シンポジウム「和解への道、日中戦争の再検討」(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 劉傑
2. 発表標題 留学と歴史認識
3. 学会等名 立命館大学主催国際シンポジウム「歴史の越え方 『怨讐の彼方』を目指して」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Xiaohua Ma
2. 発表標題 History Controversy and Reconciliation in Sino-Japanese Relations
3. 学会等名 The Fifth International Conference of Asian Studies, Rikkyo University, Tokyo (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Xiaohua Ma
2. 発表標題 War Memory, History Education and Reconciliation in East Asia
3. 学会等名 War and Peace-Building in East Asia Seminar, The University of Hong Kong (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森川祐二
2. 発表標題 東アジア共生秩序とその方法」(シンポジスト)
3. 学会等名 シンポジウム「和解のための現代日本学」、早稲田大学
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森川祐二
2. 発表標題 East Asian Regional Order in the light of IR Theoretical Models: Mapping the Past, Explaining the Present, and Modeling the Future(招待講演)
3. 学会等名 East Asia Studies Workshop at Sheffield University
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森川祐二
2. 発表標題 北東アジアとトランプ後の国際秩序 - 実証・実在論の相補的視座から
3. 学会等名 北東アジア学会第23回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鄭成
2. 発表標題 “ The Soviet Union ’ s Influence on China ’ s public Perception of other Nations ” ( 招待講演 )
3. 学会等名 “ Russia ’ s Relations with Northeast Asia ” ( Institute of Contemporary Asia Studies, Temple University, Japan Campus )
4. 発表年 2017年

## 〔図書〕 計35件

1. 著者名 森川裕二	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東方出版中心	5. 総ページ数 243
3. 書名 大夏世界史研究：日本 workstation 文集	

1. 著者名 段瑞聡	4. 発行年 2019年
2. 出版社 三和書籍	5. 総ページ数 411
3. 書名 自分がされたくないことは人にもしない：グローバル公共倫理	

1. 著者名 森川裕二	4. 発行年 2019年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 336
3. 書名 周縁 からの平和学：アジアを見る新たな視座	

1. 著者名 鄭成	4. 発行年 2020年
2. 出版社 古今書院	5. 総ページ数 146
3. 書名 スターリンの極東政策 公文書資料による東北アジア史再考	

1. 著者名 夏瑛、陳昭編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新世界出版社	5. 総ページ数 279
3. 書名 寮生 後楽寮を生きる人々	

1. 著者名 段瑞聡	4. 発行年 2018年
2. 出版社 香港城市大学出版社	5. 総ページ数 432
3. 書名 『中国与世界之多元歴史探論』	

1. 著者名 段瑞聡	4. 発行年 2018年
2. 出版社 社会科学文献出版社	5. 総ページ数 461
3. 書名 再認識與再評價：二戰中的中国與亞洲民族独立運動	

1. 著者名 段瑞聡	4. 発行年 2018年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 新版 5分野から読み解く現代中国	



1. 著者名 段瑞聡	4. 発行年 2018年
2. 出版社 稲郷出版社、台湾	5. 総ページ数 534
3. 書名 中日戦争和東亜変局』下	

1. 著者名 金大中 小渕共同宣言記念行事委員会	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ツリーポブ	5. 総ページ数 347
3. 書名 金大中 小渕恵三共同宣言20周年と東アジア未来ビジョン（韓国語）	

1. 著者名 李鍾元・木宮正史	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 168
3. 書名 朝鮮半島 危機から対話へ：変動する東アジアの地政図	

1. 著者名 Victor Teo, Sungwon Yoon, and Xiaohua Ma	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 184
3. 書名 Illicit Industries and China's Shadow Economy: Challenges and Prospects for Global Governance and Human Security	

1. 著者名 澁谷由里	4. 発行年 2018年
2. 出版社 光現出版(台湾)	5. 総ページ数 279
3. 書名 馬賊的満洲	

1. 著者名 鄭成	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 252
3. 書名 満洲の戦後 継承・再生・新生の地域史	

1. 著者名 鄭成	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中国研究所	5. 総ページ数 501
3. 書名 中国年鑑2018	

1. 著者名 野口真広	4. 発行年 2017年
2. 出版社 早稲田大学出版部	5. 総ページ数 334
3. 書名 植民地台湾の自治	

1. 著者名 澁谷 由里	4. 発行年 2017年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 272
3. 書名 馬賊の「満洲」 張作霖と近代中国	

1. 著者名 段瑞聡	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 416
3. 書名 共著：黄自進、劉建輝、戸部良一編著『日中戦争 とは何だったのか』第11章「戦後初期国民政府の対日講和構想：対日講和条約審議委員会を中心に」	

1. 著者名 段瑞聡	4. 発行年 2017年
2. 出版社 芦書房	5. 総ページ数 236
3. 書名 共著：青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」	

1. 著者名 木宮 正史	4. 発行年 2018年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 314
3. 書名 叢書 東アジアの近現代史 第4巻 ナショナリズムから見た韓国・北朝鮮近現代史	

1. 著者名 木宮正史	4. 発行年 2017年
2. 出版社 新潮社	5. 総ページ数 828
3. 書名 翻訳：金鍾泌著・中央日報社編 木宮正史監訳・若杉美奈子・小池修訳『金鍾泌証言録』	

1. 著者名 木宮正史	4. 発行年 2017年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 648
3. 書名 共著：李成市・宮嶋博史・糟谷憲一編『世界歴史大系 朝鮮史 2 近現代』「第3章 南北分断体制下の独裁と民主化の挫折」「第4章 開発独裁による南北体制競争への対応」「第5章 民主化と脱冷戦への対応」「参考文献第3章第4章第5章解説」など	

1. 著者名 木宮正史	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ブルンギル	5. 総ページ数 416
3. 書名 共著：姜元澤編、『6・29宣言と韓国民主主義：民主化30年、韓国民主主義の進展と盧泰愚政府時期の再照明』（第11章 韓国民主化と国際政治）	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2017年
2. 出版社 台湾広場文化	5. 総ページ数 252
3. 書名 中國的強國構想：從甲午戰爭至今天	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 416
3. 書名 『日中戦争 とは何だったのか』「第3章 石射猪太郎と日中戦争」	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2017年
2. 出版社 稲郷出版社	5. 総ページ数 824
3. 書名 『近代中日関係史新論』「中日戦争前的関係改善與「中国通」外交官」	

1. 著者名 馬曉華	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 416
3. 書名 『<日中戦争>とは何だったのか：複眼的視点』第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争」	

1. 著者名 馬曉華 (Xiaohua Ma)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 学术研究出版	5. 総ページ数 212
3. 書名 Seeking Common Ground: Challenges and Opportunities in the Asia-Pacific (ed.)	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2022年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 381
3. 書名 和解のための新たな歴史学－方法と構想	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 354
3. 書名 和解学の試み－記憶・感情・価値 第2章 和解学に貢献する新たな歴史学を目指して	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2021年
2. 出版社 早稲田大学出版部	5. 総ページ数 394
3. 書名 New Perspectives on International Studies in Asia-Pacific Chapter1 The History Problem and Sino-Japanese Relations in the Context of the Rise of China	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 231
3. 書名 超大国中国のゆくえ 文明観と歴史認識 第3章・第4章・終章	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 245
3. 書名 人とことば	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 308
3. 書名 人物からたどる近代日中関係史 第3部 日中関係における中国通外交官	

1. 著者名 劉傑	4. 発行年 2021年
2. 出版社 五南図書出版	5. 総ページ数 475
3. 書名 中日国力消長與東亞秩序重構 第15章 中國崛起下的歷史問題與中日關係	

〔産業財産権〕

〔その他〕

和解学の創成 正義ある和解を求めて  
<http://www.prj-wakai.com/>

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	段 瑞聡  (Duan Ruicong)  (00317083)	慶應義塾大学・商学部(日吉)・教授    (32612)	
研究分担者	前嶋 和弘  (Maeshima Kazuhiro)  (10350729)	上智大学・総合グローバル学部・教授    (32621)	
研究分担者	タンシンマンコン パッタジット  (Tangsinmunkong Pattajit)  (10844136)	東京大学・東洋文化研究所・講師    (12601)	
研究分担者	鄭 成  (Zheng Cheng)  (20386668)	兵庫県立大学・環境人間学部・教授    (24506)	
研究分担者	木宮 正史  (Kimiya Tadashi)  (30221922)	東京大学・大学院総合文化研究科・教授    (12601)	
研究分担者	馬 暁華  (Ma Xiaohua)  (30304075)	大阪教育大学・教育学部・准教授    (14403)	
研究分担者	野口 真広  (Noguchi Masahiro)  (30386560)	早稲田大学・地域・地域間研究機構・その他(招聘研究員)    (32689)	
研究分担者	澁谷 由里  (Sibudani Yuri)  (80283050)	帝京大学・文学部・教授    (32643)	



## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	李 恩民 (Li Enmin) (90372911)	桜美林大学・グローバル・コミュニケーション学群・教授  (32605)	
研究分担者	森川 裕二 (Morikawa Yuji) (90440221)	長崎大学・多文化社会学部・教授  (17301)	
研究分担者	城山 英巳 (Shiroyama Hidemi) (60897693)	北海道大学・メディア・コミュニケーション研究院・教授  (10101)	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計9件

国際研究集会 和解に向けての『新史学』	開催年 2018年～2019年
国際研究集会 歴史学と和解学のあいだ	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 日中関係50年：その歴史と研究を考える	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 第7回日本・中国・韓国国史たちの対話『歴史大衆化と東アジアの歴史学』	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 東アジア近代文明の再検討	開催年 2021年～2022年
国際研究集会 歴史と和解学	開催年 2020年～2021年
国際研究集会 東アジアにおける戦時動員の位相 その衝撃と遺産	開催年 2019年～2020年
国際研究集会 新時代の日中関係	開催年 2019年～2020年
国際研究集会 和解に向けての新史学	開催年 2018年～2019年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------